

## 令和2年度卓越研究員決定者一覧

通番	氏名	機関名	部署名	ポスト分野	卓越研究員としての研究テーマ
1	竹腰 達哉	国立大学法人北見工業大学	工学部情報通信系	数物系科学	多色同時撮像型次世代サブミリ波カメラで探る宇宙星形成史
2	FENG CHAOHUI	国立大学法人北見工業大学	工学部応用化学系	農学・環境学	Evaluation of sausages stuffed in a new innovative casing formulation with flavonoids extracted from waste orange peel based on hyperspectral imaging
3	千葉 杏子	国立大学法人東北大学	学際科学フロンティア研究所	生物系科学	微小管結合タンパク質によるオルガネラ輸送制御の機構解明
4	田原 淳士	国立大学法人東北大学	学際科学フロンティア研究所	化学	有機金属化学を基盤とした理論と実験の融合による炭素資源変換反応の開発
5	小崎 恵生	国立大学法人筑波大学	体育系	医歯薬学	老化関連疾患に対する包括的予防介入プログラムの開発
6	高橋 悠樹	国立大学法人埼玉大学	理工学研究科	数物系科学	力学系、スペクトル理論、フラクタル幾何学に関する研究
7	車地 崇	国立大学法人東京大学	新領域創成科学研究科	数物系科学	フラストレート磁性体における新規トポロジカル磁性体の開発
8	石井 健一	国立大学法人東京大学	大学院理学系研究科	生物系科学	動物の攻撃行動および関連する脳疾患のしくみ：快・不快情動と免疫系からのアプローチ
9	岸本 史直	国立大学法人東京大学	大学院工学系研究科	化学	低次元ナノ構造設計に立脚した低炭素・循環型社会に資する固体触媒開発
10	近藤 徹	国立大学法人東京工業大学	生命理工学院	生物系科学	新規顕微分光技術を用いた生体反応制御機構の解明
11	井上 史大	国立大学法人横浜国立大学	大学院工学研究院	工学系科学	三次元実装量子コンピュータ(3D-QC)実現に向けた低温プロセス
12	蔡 園青	国立大学法人金沢大学	理工研究域数物科学系	数物系科学	ねじれダブリング法と保型L関数の研究
13	佐藤 玄	国立大学法人山梨大学	大学院 総合研究部 工学域物質科学系(応用化学科)	化学	理論と実験の協奏による未踏天然物化学の開拓
14	小嶋 隆幸	国立大学法人信州大学	繊維学部 化学・材料学科	工学系科学/化学	学際的アプローチによる触媒を中心とした機能性材料に関する研究
15	西村 智貴	国立大学法人信州大学	繊維学部 化学・材料学科	化学	高分子を基盤とした人工細胞材料の創製
16	王 謙	国立大学法人東海国立大学機構(名古屋大学)	工学研究科	工学系科学	バクテリア細胞と半導体を融合したハイブリッド型光触媒系の開発
17	CHANG CHE-WEI	国立大学法人京都大学	防災研究所	工学系科学	沿岸プロセスの解明と、自然災害の軽減及び気候変動への適応のためのグリーン・グレーインフラの適用に関する総合研究
18	渡邊 翼	国立大学法人京都大学	複合原子力科学研究所	医歯薬学	ホウ素の挙動制御によるホウ素中性子捕捉反応を用いた難治性疾患治療法の開発
19	馬場 弘樹	国立大学法人京都大学	東南アジア地域研究研究所	工学系科学	住宅・土地データベースの構築に基づく住まいの再考
20	安達 真聡	国立大学法人京都大学	工学研究科	工学系科学	静電気力・磁気力を利用した月レゴリス粒子のハンドリング技術に関する研究
21	野々口 斐之	国立大学法人京都工芸繊維大学	材料化学系	化学	ナノカーボン熱電変換と赤外フォトニクスの開拓
22	村上 久	国立大学法人京都工芸繊維大学	情報工学・人間科学系	情報学	群集における個体運動の多様性と集団としての全体性の共立に関する研究
23	中嶋 舞	国立大学法人大阪大学	微生物病研究所	医歯薬学	ターゲットベーススクリーニングを用いた新規抗マラリア薬の開発
24	湊 拓生	国立大学法人広島大学	学術院(大学院先進理工系科学研究科)	工学系科学	分子状アルミナクラスターを基盤とした高活性触媒の開発
25	北嶋 康雄	国立大学法人広島大学	学術院(大学院医系科学研究科)	医歯薬学	骨格筋再生における包括的な制御機構の解明
26	関根 良博	国立大学法人熊本大学	大学院先端機構	化学	外場応答性金属錯体の創出と物性変換
27	畠山 一翔	国立大学法人熊本大学	産業ナノマテリアル研究所	工学系科学	ナノシートを用いた機能性材料の研究
28	徳本 雄史	国立大学法人宮崎大学	テニユアトラック推進室	農学・環境学	樹木の種間相互作用系の解明と、生物機能を利用した応用展開
29	久保 奨	公立大学法人公立鳥取環境大学	人間形成教育センター	情報学	マックスプラス代数を用いた離散最適化問題の理論的研究
30	松本 伸之	学校法人学習院学院大学	理学部物理学科	数物系科学	巨視的振動子の量子制御
31	向田 享平	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	素粒子原子核研究所理論センター	数物系科学	宇宙初期の極限的環境を用いた素粒子標準模型を超える物理の探究
32	山内 祥弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構	機能性材料研究拠点	化学	超高分子量ポルブラシポリマーの精密合成と機能開拓
33	原田 尚之	国立研究開発法人物質・材料研究機構	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点	工学系科学	層状金属の高移動度薄膜作製と電気伝導特性評価
34	岩崎 拓哉	国立研究開発法人物質・材料研究機構	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点	数物系科学	二次元物質積層構造による新奇物性探索と量子デバイス開発
35	小田切 公秀	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	宇宙科学研究所宇宙飛行工学研究系	工学系科学	高効率な極低温熱エネルギー輸送技術の研究
36	内野 瞬	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	先端基礎研究センター	数物系科学	冷却原子気体により実現可能な量子輸送に関する研究
37	ZHANG Haoran	LocationMind株式会社	Data Science Div.	情報学	スマートな都市緊急管理システムの開発
38	王 正	Mantra株式会社	なし	情報学	マンガの機械翻訳に資する要素技術の研究開発
39	隈元 拓馬	公益財団法人東京都医学総合研究所	脳神経回路形成プロジェクト	生物系科学	神経前駆細胞サブタイプから明らかにする大脳新皮質の起源
40	豊田 優	防衛医科大学校	医学教育部医学科分子生体制御学講座	医歯薬学	トランスポーターを起点とする健康医学・疾患生命科学的研究

## 令和2年度卓越研究員事業におけるポストを提示した研究機関

●国立大学（31機関）		ポスト数
1	室蘭工業大学	4
2	北見工業大学	2
3	東北大学	4
4	秋田大学	2
5	筑波大学	2
6	群馬大学	1
7	埼玉大学	1
8	東京大学	4
9	東京医科歯科大学	1
10	東京工業大学	1
11	東京海洋大学	1
12	電気通信大学	5
13	横浜国立大学	1
14	新潟大学	1
15	長岡技術科学大学	1
16	富山大学	1
17	金沢大学	5
18	山梨大学	1
19	信州大学	5
20	岐阜大学	3
21	静岡大学	1
22	名古屋大学	2
23	豊橋技術科学大学	2
24	京都大学	5
25	京都工芸繊維大学	2
26	大阪大学	3
27	神戸大学	1
28	広島大学	2
29	徳島大学	1
30	熊本大学	3
31	宮崎大学	2
計		70

●公立大学（2機関）		ポスト数
1	大阪市立大学	1
2	公立鳥取環境大学	1
計		2

●私立大学（2機関）		ポスト数
1	東海大学	1
2	学習院大学	1
計		2

●大学共同利用機関法人（1機関）		ポスト数
1	高エネルギー加速器研究機構	1
計		1

●国立研究開発法人（5機関）		ポスト数
1	日本原子力研究開発機構	5
2	物質・材料研究機構	15
3	理化学研究所	2
4	宇宙航空研究開発機構	2
5	国際農林水産業研究センター	1
計		25

●公設試験研究機関（1機関）		ポスト数
1	埼玉県環境科学国際センター	1
計		1

●企業（29機関）		ポスト数
1	パナソニック株式会社	1
2	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所	5
3	株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ	1
4	シンクサイト株式会社	1
5	株式会社日立製作所	3
6	株式会社Nextremer	1
7	コニカミノルタ株式会社	1
8	LocationMind株式会社	3
9	Craif株式会社（旧Icaria株式会社）	5
10	株式会社サイバーエージェント	4
11	株式会社セツロテック	3
12	株式会社VEQTA	1
13	株式会社digzyme	1
14	Navier株式会社	2
15	オリシロジェノミクス株式会社	1
16	Ghoonuts株式会社	2
17	シミックファーマサイエンス株式会社	2
18	株式会社ヒューマノーム研究所	1
19	株式会社夏目総合研究所	1
20	リージョナルフィッシュ株式会社	3
21	株式会社Jij	1
22	Mantra株式会社	1
23	NUProtein株式会社	1
24	大塚製薬株式会社	2
25	アイ'エムセツ株式会社	1
26	株式会社ヘルスケアシステムズ	2
27	シンクランド株式会社	1
28	株式会社ライトニックス	1
29	株式会社プランテックス	1
計		53

●社団・財団法人（4機関）		ポスト数
1	公益財団法人がん研究会	2
2	公益財団法人東京都医学総合研究所	1
3	公益財団法人明治安田厚生事業団	1
4	公益財団法人豊田都市交通研究所	1
計		5

●その他（2機関）		ポスト数
1	防衛医科大学校	1
2	長野県工科短期大学校	2
計		3

●全体（77機関）		ポスト数
計		162

## 背景・課題

- 今後、**生産年齢人口の減少**が一層進む中、貴重な高度人材である**若手研究者の活用**を社会全体で無駄なく効率的に図ることが必要であり、**若手研究者と産学官の研究機関とのマッチングを促進**し、科学技術イノベーションの推進と我が国の持続的発展につなげていくことが必要。
- 特に、**産学官の研究機関が優れた若手研究者に安定かつ自立した研究環境を提供**し、自主的・自立的な研究に専念できるようにしていくことが我が国の研究力の向上を図る上で極めて重要。

## 事業概要

### 【事業の目的・目標】

- 優れた若手研究者が産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得て自主的・自立的な研究に専念できるよう、研究者及び研究機関に対する支援を行う。

### 【事業の概要】

- ① 卓越研究員の受入れを希望する大学、研究開発法人、企業等からポストを募集し、一覧化して公開
  - ② 若手研究者に対して卓越研究員の公募を行い、厳正な審査を経て文部科学省が若手の卓越した研究者を候補者として選定
  - ③ その後、卓越した研究者とポストを提示した研究機関が交渉を行い、マッチングが成立した候補者について、文部科学省が卓越研究員として決定  
その際、**若手研究者と研究機関をつなぐブリッジプロモーターによりマッチングを促進**
  - ④ 卓越研究員を受け入れた研究機関に対し、一定の期間、研究費等を支援
- ※ 海外のトップクラスの研究機関で活躍し、帰国する研究者について特別枠を設け支援。

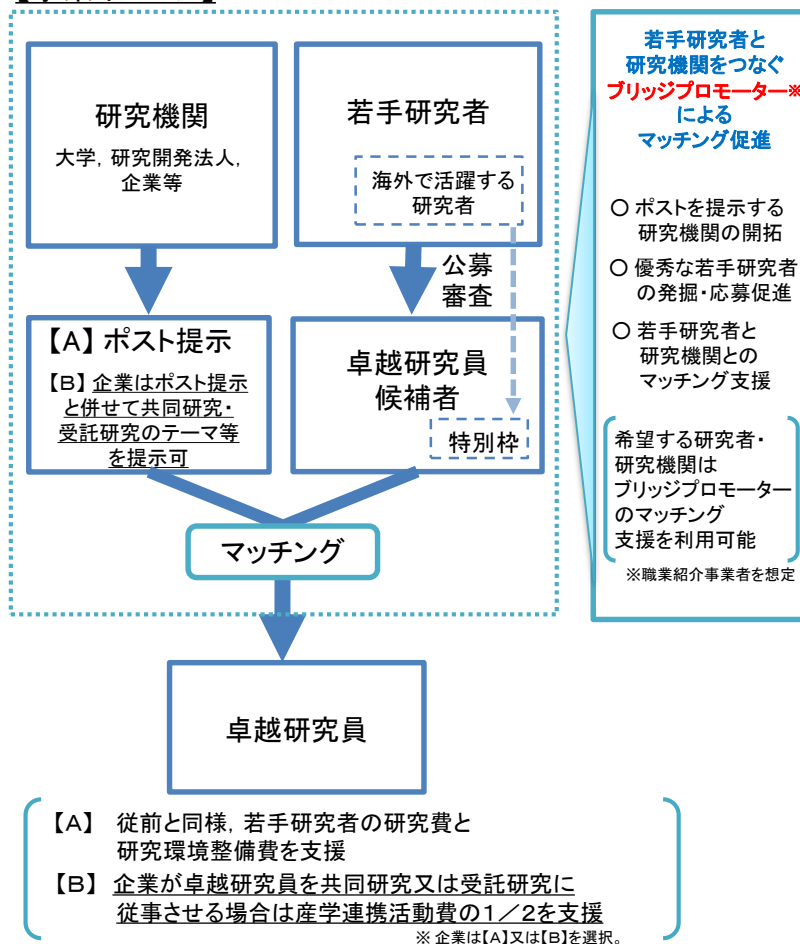
### 【事業スキーム】

- ✓ 支援対象：国公立大学、国立研究開発法人、民間企業等
- ✓ 人数：320名程度(うち新規採用 55名程度)
- ✓ 支援内容：【A】若手研究者の研究費 年間6百万円(上限)／人(2年間)<sup>1</sup>  
研究環境整備費 年間2～4百万円(上限)／人(5年間)  
※1 人文・社会科学系は、400万円を上限
- 【B】産学連携活動費 年間最大10百万円(上限)／人(最長5年間)<sup>2</sup>  
※2 クロスアポイント制度や出向制度を活用した共同研究も想定。  
補助率1/2とし、企業負担額を上限。共同研究等の開始が2年目の場合、1年目は研究環境整備費のみ措置。

### 令和2年度の拡充事項

ブリッジプロモーターを2機関に増加。卓越研究員候補者と研究機関に対するマッチング支援を充実させるとともに、新たな提示ポストの開拓等の卓越研究員決定者の拡大に向けた取組を強化。

### 【事業イメージ】



## 1. 公募期間及び申請件数

令和2年度卓越研究員事業について、令和2年1月31日（金）からポスト公募を開始し、同年12月14日（月）までに、大学や公的研究機関、民間企業などから162件（77機関）の提示にご協力いただき、文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会のウェブサイトを通じて公開しました。（別紙2参照）

申請者（若手研究者）については、平成31年度からの候補者資格継続者が146名でした。また、令和2年3月23日（月）より、申請を受け付け、同年4月23日（木）までの間、公募を行った結果、364名の新規申請者（研究者）から申請書の提出を受け付けました。

## 2. 選考方法及び決定件数

本事業に係る審査等業務を行う独立行政法人日本学術振興会において、有識者によって構成される卓越研究員選考委員会を設置し、本事業の審査要領に基づき審査を行い、同委員会の審査結果を踏まえ、令和2年7月13日（月）に文部科学省において、169名の卓越研究員候補者を決定しました。

その後、卓越研究員候補者とポストを提示した研究機関において当事者間交渉が行われ、令和2年度末までに各研究機関において新たに安定かつ自立した研究環境を得た旨、文部科学省に報告された卓越研究員候補者40名について、令和2年度卓越研究員として決定しました。